

# 集団健診/検診を利用したうつ検診の経験～普及啓発の観点から～

キーワード：検診、精神疾患、地域支援

○関谷昭吉<sup>1)</sup>、福島昇<sup>2)</sup>、田邊直仁<sup>3)</sup>、関奈緒<sup>4)</sup>  
新潟青陵大学<sup>1)</sup>、新潟市こころの健康センター<sup>2)</sup>、新潟県立大学<sup>3)</sup>、新潟大学<sup>4)</sup>

## I 目的

近年大うつ病性障害の早期発見早期対処が自殺対策として重要であるとされ、地域におけるうつ検診はその観点から注目されている。こうした中、平成 19 年度から 3 年間、関谷らは新潟市で試行的なうつ検診を実施し、大うつ病性障害の発見への有効性と問題点を検討してきた。<sup>1) 2)</sup> また新潟市こころの健康センターは平成 19 年 4 月の政令市移行に伴い新設され、その相談件数は開設の平成 19 年度には 2159 件であったが平成 21 年度には 2965 件とおよそ 1.4 倍に増加した。平成 19 年度の「うつ検診」後に「こころの健康センター」への相談件数が大きく増加し、うつ病の症状や早期発見早期対処の重要性についての普及啓発につながった可能性があった。<sup>1)</sup> そこで今回 3 年間のうつ検診の実施が相談件数の増加にどのように影響したか検討を行う。

## II 方法

8 区ある新潟市のうち、平成 19 年度に 1 区、平成 20 年度に 4 区、平成 21 年度に 8 区でうつ検診は試行的に実施され、平成 22 年度以降は未実施である。そこで平成 19 年度にうつ検診を 1 区だけ実施した江南区を除き、H20 年度からうつ検診を実施した区（中央、東、秋葉、南）の平成 21 年度からうつ検診を実施した区（西、北、西蒲）の全 7 区について新潟市のホームページで公開されている平成 19 年度から平成 21 年度までの 3 年間のこころの健康センターへ寄せられた人口 1 万人当たりの相談件数や対前年度増加率を比較する。

## III 結果

H19、H20 と連続でうつ検診を行っていない H21 実施区の H20 対前年増加率 1.08 と H20、H21 と連続して検診が行われた H20 実施区の H21 対前年増加率 1.25 をうつ検診以外の要素による相談の推計自然増加率とすると、H20 では対前年増加率が 1.1 (推計自然増

加率 1.08)、H21 では 1.4 (推計自然増加率 1.25) とそれぞれ上回った。

	H19	H20(4区実施)	H21(8区実施)
相談件数	1302	1436	1797
件数/万人	29.79	32.86	41.1
対前年増加件数/万人	0	3.07	8.24
対前年増加率	1	1.1	1.25
相談件数	635	687	963
件数/万人	21.43	23.22	32.59
対前年増加件数/万人	0	1.79	9.37
対前年増加率	1	1.08	1.4

## IV 考察

こころの健康センターの業務は多岐にわたり、うつ検診実施の有無だけが相談件数の増加に寄与すると言いつけることは困難だが、うつ検診以外の要素による相談増加より 1.9% (=1.1/1.08) から 12% (=1.4/1.25) 程度増加させ、地域住民にうつ病の早期発見早期対処の重要性の普及啓発につながった可能性があることが示唆された。

## V 結論

本研究では、うつ検診は早期発見早期対処の重要性を住民に直接伝える機会に加え、相談機関への相談件数の増加につながり、地域住民の精神保健福祉の向上に有用な普及啓発のツールとなる可能性が示唆された。しかし地域でのうつ検診実施には、擬陽性や見落としの少ない質問紙の選定や自殺予防効果の検討など課題があり、今後も引き続き調査研究が必要であろう。

## 引用文献

- 1) 関谷昭吉、福島昇、田邊直仁、関奈緒、鈴木宏. 集団健診/検診を利用したうつ検診の経験～大うつ病性障害発見の観点から～. 日本公衆衛生学会総会抄録集. 2008;67:551.
- 2) Akiyoshi Sekiya, Norihito Tanabe, Nao Seki, Noboru Hukushima, Satoshi Yamazaki, Etsuko Nakamura, Hiroshi Suzuki. The accuracy, efficiency, and appropriateness of two self-administrative scales to screen for major depressive disorder. Acta Medica et Biologica .2010;57(1).